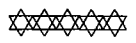
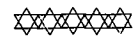


盛りあがった

青年部定期委員会



九月十八日(十九日)、千葉市内において、青年部第十一回定期委員会が開催された。二日間でのべ一〇〇名が結集し、ストライキ闘争の再開を意志統一した。青年部を先頭に、さらに動労千葉定期大会の圧倒的成功をかちとろう!



運転でのストに進撃するぞ!

十八日十三時すぎより始まった委員会は、議長に山村君(新小岩)を選出して進められた。

最初に、杉本青年部長は「われわれは、長期波状ストに突入した。売店・駅のストから運転のストへ!そして、全組合員のスト決起へ!ストの嵐で首切り撤回・原職奪還をかちとろう」とあいさつした。本部を代表して布施書記長から「これからの運動を担う青年部に期待する」との檄が発せられた。国労共闘の仲間には「修善寺臨大の精神で、四万組合員の先頭で闘う」と連帯のあいさつを行った。

つづいて、一年間の闘いの総括について論議した。

青年部常任委員会からの総括提起を行ったのちに、各支部が闘いの報告を行う。「昇給・ボーナスへの差別支給に対し、区長交渉を行った。団結を強め、10・23三里塚へ決起する」(新小岩)「欠員状況にもかかわらず、支部長は二ヶ月も乗務停止のまま。一方、売店は、ストの影響で対応は悪くない。運転でのストを」(津田沼)「昇進の試験が行われたが、差別されるのではないかと

いうことが話題」(幕張)「支部長は五ヶ月乗務停止のまま。講習時での、応急措置の競争(点数つけ)は許していいのか」(千葉転)「河野車務課長への抗議と、支区長の処分(酔って運転室に乱入)の重さが同じだというのは納得できない」(木更津)「青年部員が駅でストを貫徹。今後も闘う」(館山)「青年部は全員配転させられた。ストは当局に打撃を与えている。はれものにさわ

るようだ」(勝浦)「JR内で日本一の明るい職場といえる状況をつくっている」(佐倉)「一人

組合復帰をかちとり激励会をやった。二ヶ月に一回清算事業団に激励に行っている」(銚子)

途中で、当日集会を開催するという忙しい中を

途中で、当日集会を開催するという忙しい中を

三里塚反対同盟・伊藤さんがかけつけて「農地とありあげと断固闘う。10・23三里塚へ結集して欲しい」と訴えられた。また、事業部でがんばっている川崎君からの報告をうけた。

総括と会計が承認され、初日の議事を終了した。夜は記録映画「檄」を上映し、自分たちの闘いの経過をふり返り、決意を新たにしました。

二日目、動労水戸木村青年部長より「三人で来ました。九月末にストに突入するので、応援をよろしく」との連帯のあいさつをうけ、白井協販部長が「夏の物販ごくりうさまでした。三回のとりくみで今回が最高額」と報告。

つづいて、情勢・方針案が提起され、三つの決議案が出され、討論ののち承認された。

新役員が発表され、決意表明が行われた。最後に、団結ガンバローを三唱し、青年部先頭に、ストライキを再開し、今秋一九〇年決戦に突入することを決定した。

- 一九八八年度青年部三役
- 青年部長 杉本則夫 津田沼 営業係
- 副 佐藤正和 新小岩 運転士
- 書記長 永島務 幕張 営業指導



長期波状ストライキの再開を決議し、動労千葉の先頭に立つことを決意。成功裡に定期委員会をかちとった青年部!

長期波状スト再開へ

国鉄「分割・民営化」反対 / 三里塚二期工事阻止 /